

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	日本
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択）	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	ベトナム語
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	人間科学部
留専攻	社会学科

留学期間

開始	2019/9/16
終了	2020/6/5

留学前

留学の目的	<ul style="list-style-type: none">・半数以上が米国以外からの留学生という状況で、様々な文化の異なる人々とふれあい、英語という共通語を使って異文化を理解し、様々な考えに触れて自分自身の考えを探っていくこと。・東南アジアなどでは日本人というだけで歓迎されたりするが、欧米人の多いこの国でまず、アジア人というマイノリティ、さらには日本人というマイノリティな状況を自ら体験してみて、ゼミで学ぶ予定の日本に住む外国人へのコミュニティ通訳の必要性や彼らの具体的な苦労を実体験する。・英語力の向上。特に、英語でディスカッションができるようになりたい。英語で考える頭になっているという証拠になる気がするから。・日本人やほかのアジア人がどのように思われているのかも興味があるので出来たら知りたい
-------	--

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELT overall 6.5
その他	
レベル	

情報収集方法

	先輩
	HP
	パンフレット
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	8月
ビザ申請方法	イギリス大使館のサイト
航空券を準備した時期	6月
航空券準備方法	旅行代理店サイト
履修登録を始めた時期	7月
履修登録方法	大学のマイページ
入寮申込みを始めた時期	7月
入寮申込み方法	大学のマイページ
住居探しを始めた時期	7月
住居探し方法	
保険に加入した時期	
保険加入方法	
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	7月
語学強化方法	IELTS 対策

その他の準備を始めた時期	8月
その他の準備内容	荷物

留学中

学年暦

9月	入寮が許可される日に合わせてイギリスへ渡航。新入生歓迎会がたくさんあり、いくつか体験した。授業は月末くらいから始まった。
10月	レポート提出に追われる。ストライキのため潰れた授業も多かった。
12月	クリスマス休暇。ヨーロッパ各地に旅行に行った。
1月	試験勉強。二週間くらい一日中図書館で勉強した。
2月	試験。その後すぐに二学期が開始。
3月	ストライキにより授業が沢山潰れた。レポート対策に励んでいたころ、コロナウィルスのため無念の帰国。

留学生科目

科目名	Foundations of Sociology
使用言語	英語
科目名	Inequalities in contemporary Britain
使用言語	英語
科目名	Contemporary Sociology
使用言語	英語
科目名	Global social challenges
使用言語	英語
科目名	Researching society and culture
使用言語	英語

学部・大学院科目

受講	不可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	聴講のみ

学部・大学院科目

科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	月9万
支払い方法	クレジットカード
部屋人数（人部屋）	
家族・同居人（人）	
門限	なし
食事	朝・夕食事月
	★
	★
セキリティ-	★

全体の印象



大学までの距離

徒歩10分

大学までの所要時間

大学のマイページ

応募方法

病院

近隣施設

スーパー

その他の近隣施設)

レストラン・カフェ

住居にあった設備

机・椅子 (部屋)

キッチン (共有)

ベッド (部屋)

冷蔵庫 (共有)

シャワー (共有)

クローゼット (部屋)

洗面台 (部屋)

インターネット (部屋)

ランドリー (共有)

冷暖房 (部屋)

トイレ (共有)

その他住居にあった設備

治安状況

住居周辺の評価



大学周辺の評価



気をつけるべき点

特に感じなかったが、治安が悪くて有名なレストラン街が近くにあった。

学内環境

食堂の評価



食堂についてのコメント

イギリスらしい食事で、私は美味しいと感じた。ただ、米は美味しくない。

図書館の評価



図書館についてのコメント

とても広くて24時間開いているため、勉強には最適。試験期間中は早朝に行かなければ満席になってしまう。

インターネットの評価



インターネットについてのコメント

売店・ブックストアの評価



売店・ブックストアについてのコメント	☆
大学のサポートの評価	☆☆☆☆☆
大学のサポートについてのコメント	☆
全体の印象) 評価	☆☆☆☆☆
全体の印象) についてのコメント	

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	殆ど次の授業の予習に追われていた。夜は友達と夕食を食べに市の中心地まで歩いて行くことも多かった。international societyという多文化交流会のようなものにもたまに参加していた。コーラスに誘っていただき、週一で活動していた。
Weekend(休日の過ごし方)	授業の予習がないときは友達とおしゃれなカフェ巡りや美術館、近くの都市への小旅行などをしていた。

おすすめスポット・旅行先など

クリスマス休暇にオランダ、ベルギー、フランスに旅行したのはとても良かった。イギリスも外観が綺麗なところもあるので、昼間一人でカメラを持って散歩するのも良いと思う。

目標

1	英語でディカッションができるようになる
その成果 1	☆☆☆☆☆
2	多文化を知る
その成果 2	☆☆☆☆☆
3	マイノリティの気持ちを理解する
その成果 3	☆☆☆☆☆

今後の課題

先生の英語は理解しやすかったが、ネイティブ学生の英語訛っていたり声量が小さかったりと、まだまだ聞き取れないことが多くあったので、帰国後もネイティブの人と話す時間を見つけて英語力を伸ばしていきたい。また、時事的な国際問題など、知識がないと議論できない部分もあったので、これからは常にアンテナを張って情報収集していきたいと思った。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

リスニング力。イギリスのネイティブ英語にもっと慣れていけば良かった。

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

私がコロナウィルスのため途中帰国せざるを得なかったように、いつ何が起こるか分からなので、常に何事にも挑戦したいり、たくさん友達話したり、できる限りコミュニティを広げて交流したりした方が後悔の無い留学にすることができる。イギリスのネイティブ英語は聞き取りは難しいので、できればイギリス人の友達を作るとよい。授業の予習で忙しいが、今思えばとにかく充実していて楽しいので、期待していいと思う。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 不可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	英語（北アメリカ）
学年	3
留学時学年を選択	3

留学先

学部	Linguistics and English Language (LELA)
留専攻	

留学期間

開始	2019/9/12
終了	2020/6/5

留学前

留学の目的	言語学の知識増強、英語力向上
-------	----------------

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 7.0 (Writing 7.0以上)
その他	
レベル	

情報収集方法

	友人
	HP
	パンフレット
その他	同大学に派遣留学予定の他の外大生と、留学生課経由で連絡先を交換し、ビザ申請の際などに情報共有した。
参考になるHP	マンチェスター大学のホームページ

留学準備

ビザ申請を始めた時期	6月
ビザ申請方法	オンライン申請後、ビザセンターに行き書類提出
航空券を準備した時期	6月
航空券準備方法	インターネット
履修登録を始めた時期	3月
履修登録方法	先方大学に出願する際に履修コースを選択。その後履修可否が先方留学生課によって判断され、渡航後にその結果を受けて修正する。
入寮申込みを始めた時期	3月
入寮申込み方法	先方大学出願と同時
住居探しを始めた時期	
住居探し方法	
保険に加入した時期	6月
保険加入方法	学研災付帯海外留学保険
予防接種を受けた時期	9月
予防接種の種類	Meningitis（髄膜炎）ワクチン。渡航後GP（かかりつけの近所の医院）にて無料で接種を受けた。
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
Semester 1 開始
12月
クリスマス休暇
1月
Semester 1 終了
1月
Semester 2 開始
3月
イースター休暇
6月
Semester 2 終了

留学生科目

科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	English Word and Sentence Structure
使用言語	英語
科目名	English Corpus Linguistics
使用言語	英語
科目名	History and Varieties of English
使用言語	英語
科目名	Variationist Sociolinguistics
使用言語	英語
科目名	Psycholinguistics
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	月9万
支払い方法	入居時にクレジットカード一括払い。銀行口座を現地で開設すれば、3回分割での自動引き落としも設定可。
部屋人数（人部屋）	1
家族・同居人（人）	
門限	なし
食事	朝・夕食付
	★
	★
セキリティー	★
	★
	☆
	★
全体の印象	★
	★
	★
大学までの距離	2km
大学までの所要時間	徒歩25分、バス10分

大学のサポートの評価	★★★★
大学のサポートについてのコメント	とても手厚い。困ったら基本的にIPO (留学生課) か、Student Service Centreに相談すれば親身になってくれる。
全体の印象) 評価	★★★★★
全体の印象) についてのコメント	非常に規模が大きく、キャンパスが綺麗。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	大学で行われるイベントに参加、図書館で勉強、買い物など。 平日は、18時半から寮で一斉に夕食をとるため (自分の入居していたSt Anselm Hallのみの伝統的な決まりで、黒ガウン着用必須)、それまでに帰寮することが多かった。
Weekend(休日の過ごし方)	City Centreや近隣の町に友人と外出、大学のInternational SocietyやJapanese Societyのイベントに参加、図書館や寮で勉強。

おすすめスポット・旅行先など

Liverpoolはビートルズの聖地で、横浜に似た開放的な港町なので天気の良い時に訪れると楽しめる。Yorkは歴史的な建物や街並みが残っている。ロンドンも早めに行っておくべき。
クリスマス休暇にはヨーロッパを一週間旅行した。パリやドイツのケルンに近いので行きやすい。

目標

1	言語学の知見を広げる	★★★★★
その成果 1		★★★★★
2	英語力向上	★★★★★
その成果 2		★★★★★
3	様々な国籍の人と交流する	★★★★★
その成果 3		★★★★★

今後の課題

英語力の維持とスピーキング力のさらなる向上。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

英語のリスニング能力の不足。講義は問題なかったが、友人の話は出身国によって理解しづらいことがあった。

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

マンチェスター大学で交換留学生として学ぶ場合、履修する講義数が制限されるので、自由に使える時間がかなりあります。

もともと海外大学は授業時間数が短く自主学習重視という傾向にあるため、ある程度自主学習は必要ですが、時間を上手に利用して多くのことにチャレンジしたり、積極的に人と関わったりすることが必要だと思います。

また、私はコロナウイルス感染拡大の影響で3月下旬に強制帰国を余儀なくされました。以降は外大の授業を受けながらオンラインでマンチェスター大の学習を続け、6月に派遣留学を無事修了したものの、現地でやり残したことが多くあります。ロンドンにも結局行けませんでした。

留学する際はいつ何があるか分からないことを頭に置きつつ、精一杯充実した留学生活を送ってほしいと思います。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	タイ語
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	人文学部
留専攻	社会人類学、社会学

留学期間

開始	2019/9/16
終了	2020/6/5

留学前

留学の目的	<ul style="list-style-type: none">・社会人類学や社会学の専門的な分野の知識を深めるため。・英語におけるディスカッション能力を強化するため。・国際色豊かな環境で生活をし、英国の文化多様性に触れるため。
-------	--

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 6.5 以上（各セクションで6.0以上）
その他	
レベル	

情報収集方法

	友人
	HP
	パンフレット
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	8月
ビザ申請方法	Gov.uk
航空券を準備した時期	8月
航空券準備方法	オンライン
履修登録を始めた時期	9月
履修登録方法	現地大学の担当者を通して
入寮申込みを始めた時期	7月
入寮申込み方法	現地大学の担当者を通して
住居探しを始めた時期	6月
住居探し方法	現地大学の担当者を通して
保険に加入した時期	6月
保険加入方法	大学経由
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	6月
語学強化方法	IELTSの勉強
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
 セメスター1 開始
 12月
 クリスマス休暇
 1月
 セメスター1 期末試験
 1月
 セメスター2 開始
 3月
 イースター休暇
 5月
 セメスター2 期末試験
 6月
 アカデミックイヤー 終了

留学生科目

科目名
 使用言語
 科目名
 使用言語
 科目名
 使用言語
 科目名
 使用言語
 科目名
 使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Power and Culture
使用言語	英語
科目名	Political and Economic Anthropology
使用言語	英語
科目名	Cultural Diversity in Global Perspective
使用言語	英語
科目名	Materiality and Representation
使用言語	英語
科目名	Introduction to Business Anthropology
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	£6411
支払い方法	3回分割払い（口座引き落としのため、現地の銀行で口座開設）
部屋人数（人部屋）	1人部屋
家族・同居人（人）	なし
門限	なし
食事	朝食・夕食付き
	★
	★
セキリティー	★
	☆
	☆
	★
	★
全体の印象	★
	★
	★
大学までの距離	近い

大学までの所要時間	徒歩15分程度
応募方法	現地大学担当者を通してメールより応募
近隣施設	コンビニ 銀行 病院 スーパー 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	
住居にあった設備	机・椅子（部屋） キッチン（共有） ベッド（部屋） 冷蔵庫（共有） 本棚（部屋） シャワー（共有） クローゼット（部屋） 洗面台（部屋） インターネット（部屋） ランドリー（共有） 冷暖房（部屋） トイレ（共有）
その他住居にあった設備	

治安状況

住居周辺の評価	★★★★★
大学周辺の評価	★★★★★
気をつけるべき点	近くにあるカーマイルという繁華街の治安は夜になると悪くなるので注意すること。

学内環境

食堂の評価	★★★★★
食堂についてのコメント	多国籍な料理（タイ、日本、アメリカ、メキシコ、ベトナムなど）
図書館の評価	★★★★★
図書館についてのコメント	とても広く、設備が充実している。（個人やグループ用に区切られたスペースもある）
インターネットの評価	★★★★★
インターネットについてのコメント	たまに混線することもある。
売店・ブックストアの評価	★★★★★
売店・ブックストアについてのコメント	大学のオリジナルグッズが豊富

大学のサポートの評価



大学のサポートについてのコメント

勉強、手続き関連などサポートは多方面で充実していた

全体の印象) 評価



全体の印象) についてのコメント

アジアや欧米系など、様々な国籍の学生がいるため、学生も大学スタッフも異文化に深い理解があり、比較的寛容だった。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)

- ・ 課題を進めたり、文献を読んだりした
- ・ 日用品の買い出し
- ・ 外食したり、公園を散歩したりのんびりと過ごした
- ・ 友人の部屋で映画鑑賞、料理
- ・ 日本人のご家庭で食事会、交流会
- ・ 国際交流サークル
- ・ 不定期で開催される寮でのFormal Dinner
- ・ 街の散策
- ・ 日帰り旅行、ツアー

Weekend(休日の過ごし方)

- ・ サッカー観戦
- ・ 料理サークル
- ・ クラシックコンサート
- ・ クリスマスキャロルサービス (クリスマス時期)

おすすめスポット・旅行先など

イギリス国内：リバプール、ヨーク、チェスター
 (湖水地域、ロンドン、エディンバラなどは現地の友人に勧められた場所)
 ヨーロッパ諸国：オランダ、ベルギー、フランス、ドイツ
 (長期休暇などに周遊するのを勧めする)

目標

1

社会人類学、社会学の専門的な知識を深めること

その成果 1



2

英語におけるディスカッション能力の向上

その成果 2



3

英国の文化多様性に触れる。

その成果 3



今後の課題

- ・ 論理的に英語で国内外のニュースや歴史に対する見解を述べられるようにすること。
- ・ 留学で学んだ分野を日本でも深掘りできるように本やメディア、大学の講義などから継続的に知識を深めること。
- ・ 卒業論文のテーマを構想すること。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

・文化面：大学内では問題ないが、街中や大学から一歩外に出ると主にアジア人に対する差別や偏見が多いと感じた。

・勉強面：専門的な言葉の理解に困難を感じたが、事前に調べておくなどの対策を取るよう努めた。ディスカッションで発言をしないと授業の流れから置いていかれるのではないかという不安があったが、徐々に授業の形式や雰囲気に対応でき、積極的に発言した。

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 総合商社、メーカーを中心に探している

後輩へのアドバイス

留学に行くまでではなく、行ってからの現地での行動力で留学の経験は大きく変わると思います。私自身、異国の地であるからこそ、怖気付くことなく様々なコミュニティや人々と関わっていくことで自分の視野や価値観は広がりました。そうしたつながりを意識して留学生生活を謳歌できるような計画や目標を立ててみることをお勧めします。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	英語（北西ヨーロッパ）
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	School of Arts, Languages, and Cultures
留専攻	History of Art

留学期間

開始	2018/9/18
終了	2019/6/5

留学前

留学の目的	本校ではあまり開講されていない美術史の授業を受ける 国際交流・異文化理解を深める 英語力の向上
-------	---

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 7.0 overall (writing 7.0)
その他	
レベル	

情報収集方法

その他	先輩
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	4月
ビザ申請方法	
航空券を準備した時期	6月
航空券準備方法	オンライン
履修登録を始めた時期	6月
履修登録方法	申請書、メールで調整
入寮申込みを始めた時期	6月
入寮申込み方法	オンライン
住居探しを始めた時期	6月
住居探し方法	大学の寮
保険に加入した時期	7月
保険加入方法	外大で一斉加入
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	映画やドラマでイギリス英語になれる、語学試験準備
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
Welcome Week、前期授業、履修修正期間

10月
Reading Week (レポート課題あり)
12月
クリスマス休暇、前期授業終了
1月
前期テスト期間、後期授業開始、履修修正期間
4月
イースター休暇、
5月
後期授業終了、前期テスト期間
6月
帰国

留学生科目

科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Ice Age to Baroque(前期)/Rococo to Now(後期)
使用言語	英語
科目名	Art Spaces
使用言語	英語
科目名	After Life of Objects
使用言語	英語
科目名	Art in Theory
使用言語	英語
科目名	Art in Britain from Turner to Whistler
使用言語	英語

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	£6411/year
支払い方法	オンライン
部屋人数 (人部屋)	1人
家族・同居人 (人)	
門限	なし
食事	ケータリング
	★
	★
セキリティ-	★
	☆
	☆
	★
	★
全体の印象	★
	★
	★
大学までの距離	
大学までの所要時間	徒歩15分
応募方法	オンライン

近隣施設	コンビニ 銀行 病院 スーパー 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	美術館、カレーマイル、公園、カフェ
住居にあった設備	机・椅子 (部屋) 机・椅子 (共有) キッチン (共有) ベッド (部屋) 冷蔵庫 (共有) 本棚 (部屋) シャワー (共有) クローゼット (部屋) バスタブ (共有) 洗面台 (部屋) インターネット (部屋) インターネット (共有) ランドリー (共有) 冷暖房 (部屋) トイレ (共有)
その他住居にあった設備	アマゾンロッカー、ジム、パブ

治安状況

住居周辺の評価	★ ★ ★ ★ ☆ ★ ★
大学周辺の評価	★ ★ ★ ☆
気をつけるべき点	人通りが多く夜も比較的安全だが、寮周辺で窃盗・不審者目撃情報あり

学内環境

食堂の評価	★ ★ ★ ★ ☆
食堂についてのコメント	朝と夕 メニューは豊富、同じブロック以外でも友人がしやすい環境
図書館の評価	★ ★ ★ ★
図書館についてのコメント	文献が豊富、テスト前は営業時間の延長/増席など勉強しやすい環境
インターネットの評価	★ ★ ★ ★
インターネットについてのコメント	大学・寮ともに問題なし
売店・ブックストアの評価	★ ★ ★ ★
売店・ブックストアについてのコメント	教科書はほとんどオンラインでダウンロード可

大学のサポートの評価



大学のサポートについてのコメント

留学生の受け入れ設備が整っているが、問題があった時は粘り強く交渉する必要がある

全体の印象) 評価



全体の印象) についてのコメント

留学生受け入れ体制が整っており、とてもよい大学だった

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)

授業の予習・復習 (Readingなど)

パブ

映画・ドラマ

外食

市内散策、ショッピング

Weekend(休日の過ごし方)

パブ

アートギャラリー

プレミアリーグ観戦

ヨーク、リバプールなどに日帰り旅行

おすすめスポット・旅行先など

サッカー: Old Trafford, Etihad Stadium

買い物: Manchester Arndale, Trafford Centre, Northern Quarter

食事: Rudy's Pizza, I am pho, Happy Seasons, Richmond Tea Rooms

美術館: Manchester Art Gallery, The Whitworth

目標

1

美術史の授業を受ける



その成果 1

2

異文化理解を深める



その成果 2

3

英語力の向上



その成果 3

今後の課題

英語力の維持 (特にSpeaking)

留学中に学んだ内容を卒論にいかす

就職活動

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

・寮は安全なエリアにあったが、部屋に鍵をかけていない人はパソコンなどを盗まれていた。また不審者がよく現れていたため、十分に注意する

・留学前は三年生向けの授業を多く履修する予定で申請したが、卒論に向けた内容が高度な授業のため、学部や教授によっては留学生は履修を断られるケースがあった

・マンチェスターは天気が悪い日が多く、年間を通して気温が低いので防水の上着や長袖を多めに持っていく

・日本の食材はほとんど中華スーパーで手に入るなのであまり持っていかなくても大丈夫であった

・留学中に就職活動をする場合はスーツ・SPIの参考書などを持ってきている人が多かった

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 未定

後輩へのアドバイス

イギリス英語対策 (様々な方言に慣れておく)

寮はVictoria Parkのエリアが大学から徒歩圏内かつスーパー/郵便局なども近くておすすめ、また留学生が多く交流しやすい。

Fallowfieldは比較的治安が悪いという噂をよく聞いた

マンチェスター大学は外大にはないような授業も多数開講されており視野が広がった留学生でも人文系なら学部こだわらずなんでも履修できる)

空港があるため長期休暇は安価でヨーロッパ各国に旅行しやすい、ロンドンへは電車で二時間ほど

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択）	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	英語（北アメリカ）
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	Humanities
留専攻	Humanities

留学期間

開始	2018/9/11
終了	2019/6/14

留学前

留学の目的	英文学、世界文学の授業受講
-------	---------------

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	
その他	基本IELTS6.0以上
レベル	

情報収集方法

	HP
	パンフレット
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期
ビザ申請方法
航空券を準備した時期
航空券準備方法
履修登録を始めた時期
履修登録方法
入寮申込みを始めた時期
入寮申込み方法
住居探しを始めた時期
住居探し方法
保険に加入した時期
保険加入方法
予防接種を受けた時期
予防接種の種類
語学強化を始めた時期
語学強化方法
その他の準備を始めた時期
その他の準備内容

留学中

--

学年暦

--

留学生科目

科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Reading Literature
使用言語	
科目名	The Odyssey
使用言語	
科目名	World Literature: the forms of novels
使用言語	
科目名	World Literature: Debates and Definitions
使用言語	
科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	60000-80000
支払い方法	クレジットカード
部屋人数 (人部屋)	一人
家族・同居人 (人)	
門限	なし
食事	あり→なし (に変更)
	★
	★
セキリティ-	★
	★
	☆
	★
	★
全体の印象	★
	☆
	☆
大学までの距離	
大学までの所要時間	徒歩10分
応募方法	HP
近隣施設	銀行
	病院
	スーパー
その他の近隣施設)	大学、ファストフード店
住居にあった設備	机・椅子 (部屋)
	机・椅子 (共有)
	キッチン (共有)
	ベッド (部屋)
	冷蔵庫 (共有)
	本棚 (部屋)
	シャワー (共有)
	クローゼット (部屋)
	洗面台 (共有)

ランドリー（共有）
冷暖房（部屋）
トイレ（共有）

その他住居にあった設備

治安状況

住居周辺の評価	★★★★★
大学周辺の評価	★★★★★
気をつけるべき点	City Centre, Fallowfieldはやや治安が悪い

学内環境

食堂の評価	☆☆☆☆☆
食堂についてのコメント	
図書館の評価	★★★★★
図書館についてのコメント	多くの英文書籍が収められている
インターネットの評価	★★★★★
インターネットについてのコメント	wifi有
売店・ブックストアの評価	★★★★★
売店・ブックストアについてのコメント	Blackwells'
大学のサポートの評価	☆☆☆☆☆
大学のサポートについてのコメント	
全体の印象) 評価	★★★★★
全体の印象) についてのコメント	

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	Judo Society、読書、友人と食事
Weekend(休日の過ごし方)	読書、買い物、旅行等

おすすめスポット・旅行先など

Stratford-upon-Avon, London, Edinburgh,
Dublin(Ireland)

目標

1	読書
	★
	★
その成果 1	★
	★
	★
2	学業
	★
	★
その成果 2	★
	★
	☆
3	☆
	☆
その成果 3	☆
	☆
	☆

今後の課題

専門分野の更なる追及、専門分野の文献を読む

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

本を大量に買い過ぎたこと

帰国後

進路予定

未定

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

分からないことは自分で調べるあるいは先輩に聞くこと、積極的に現地の人と会話してみること、本をたくさん読むこと
今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	朝鮮語
学年	5
留学時学年を選択	4

留学先

学部	Sociology and Politics / East Asian Studies
留専攻	East Asian Studies

留学期間

開始	2017/8/7
終了	2018/6/8

留学前

留学の目的	東アジア地域の国際関係・政治学に関する知識の深化、英語力の向上
-------	---------------------------------

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	
その他	IELTS 7.0
レベル	

情報収集方法

	HP
その他	大学とのメールでのやりとり
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	4月
ビザ申請方法	
航空券を準備した時期	4月
航空券準備方法	
履修登録を始めた時期	4月
履修登録方法	
入寮申込みを始めた時期	5月
入寮申込み方法	
住居探しを始めた時期	5月
住居探し方法	
保険に加入した時期	7月
保険加入方法	
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

8月
言語研修PS5
9月
履修変更 Semester1 開始

12月
 クリスマス休暇
 1月
 履修変更 Semester2 開始
 3月
 イースター休暇
 6月
 期末試験 帰国

留学生科目

科目名	5weeks Pre-Sessional Course
使用言語	English
科目名	
使用言語	

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Social Change in China
使用言語	English
科目名	War Memories and Reconciliation in East Asia
使用言語	English
科目名	Science and Technology in East Asia
使用言語	English
科目名	US-China Relations
使用言語	English
科目名	Chinese 1&2
使用言語	Chinese

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	約8万円/月
支払い方法	3回払い
部屋人数（人部屋）	1人
家族・同居人（人）	0人
門限	なし
食事	朝・夕食事付き/共用キッチン有
セキリティ-	            
全体の印象	            
大学までの距離	
大学までの所要時間	徒歩・バス合わせて20分程度
応募方法	オンライン
近隣施設	スーパー 薬局
その他の近隣施設)	
住居にあった設備	机・椅子（部屋）

キッチン（共有）
ベッド（部屋）
冷蔵庫（共有）
本棚（部屋）
シャワー（共有）
クローゼット（部屋）
洗面台（部屋）
インターネット（部屋）
ランドリー（共有）
冷暖房（部屋）
トイレ（共有）

その他住居にあった設備

治安状況

住居周辺の評価



大学周辺の評価



気をつけるべき点

特に危険な目には遭遇しなかったが、寮の周りは街灯が少なく夜は非常に暗くなるので注意が必要だった

学内環境

食堂の評価



食堂についてのコメント

期待しないほうが良い

図書館の評価



図書館についてのコメント

WiFi 電源 コーヒースタンド完備 非常に使いやすい

インターネットの評価



インターネットについてのコメント

大学・市内・路線バス・寮などほぼ全ての場所で WiFi が飛んでいる

売店・ブックストアの評価



売店・ブックストアについてのコメント

キャンパスに複数有

大学のサポートの評価



大学のサポートについてのコメント

全体の印象) 評価



スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)

友達とごはんを食べたりする日もあれば、寮の食堂で食べる日もある。夜遅くならないうちに帰宅して、夜は部屋で課題をしたりして過ごした。

Weekend(休日の過ごし方)

ジムに行ったり、課題を進めたりして過ごした。たまに友達と遊びに出かけたりもした。

おすすめスポット・旅行先など

日帰りでもリバプールやボクストン、ヨーク、ノースウェルズなどに行った。どの街もとても良かった。マンチェスター市内は様々なお店が揃っていて休日はたくさんの人で賑わう。チャイナタウンも規模が大きいので、アジアの味に恋しくなったときにはおすすめ。日常的に路上ライブが開催されるなど、人々と音楽との距離が近い。ジャズバーなども人気で週末に行くと大変盛り上がっている。

目標

1



その成果 1



2



その成果 2



3



その成果 3



今後の課題

語学力の維持・向上

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

ライティングの力不足を痛感し続ける毎日だった。良い教科書などあれば持って行くとよいかも。しれない。

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 ロンドンキャリアフォーラムを通じて内定取得済み

後輩へのアドバイス

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えて 可
も良いですか？

基本情報

国名	イギリス
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	マンチェスター大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択）	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	英語（北西ヨーロッパ）
学年	4
留学時学年を選択	3

留学先

学部	人文学部
留専攻	政治学、社会学

留学期間

開始	2017/9/18
終了	2018/6/8

留学前

留学の目的	1.英語力の向上 2.開発学の履修 3.イギリス文化への理解を深めること 4.ヨーロッパ諸国への周遊
-------	---

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 6.0 (+履修コースによって異なる条件あり)
その他	
レベル	

情報収集方法

	先輩
	HP
	パンフレット
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	7月
ビザ申請方法	現地大学担当者を通じて
航空券を準備した時期	9月
航空券準備方法	旅行会社を通じて
履修登録を始めた時期	6月
履修登録方法	現地大学担当者を通じて
入寮申込みを始めた時期	7月
入寮申込み方法	現地大学担当者を通じて
住居探しを始めた時期	
住居探し方法	
保険に加入した時期	
保険加入方法	
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	6月
語学強化方法	IELTSの勉強
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

9月
セメスター1 開始
12月
クリスマス休暇
1月
セメスター1 学期末試験
1月
セメスター2 開始
3月
イースター休暇
5月
セメスター2 学期末試験
6月
アカデミックイヤー終了

留学生科目

科目名	Language in Use
使用言語	英語
科目名	Language & Culture through Film
使用言語	英語
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	
科目名	
使用言語	

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Making Sense of Politics
使用言語	英語
科目名	British Society in a Globalising World
使用言語	英語
科目名	The Politics of Development
使用言語	英語
科目名	Global Social Challenges
使用言語	英語
科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	£7,435
支払い方法	
部屋人数 (人部屋)	1人
家族・同居人 (人)	
門限	なし
食事	朝、夜
	★
	★
セキリティ-	★
	☆
	☆
	★
	★
全体の印象	★
	☆
	☆

大学までの距離	遠くも近くもない
大学までの所要時間	徒歩20分、バス10分
応募方法	現地大学担当者とのメールを通じて、インターネット上で応募
近隣施設	コンビニ 病院 郵便局 薬局
その他の近隣施設)	
住居にあった設備	机・椅子 (部屋) キッチン (共有) ベッド (部屋) 冷蔵庫 (共有) 本棚 (部屋) シャワー (部屋) クローゼット (部屋) バスタブ (共有) 洗面台 (部屋) インターネット (共有) ランドリー (共有) 冷暖房 (部屋) 冷暖房 (共有) トイレ (部屋)
その他住居にあった設備	

治安状況

住居周辺の評価	★ ★ ★ ☆ ☆ ★ ★
大学周辺の評価	★ ★ ☆ ☆
気をつけるべき点	昼間でもケータイをすられることがあるので特に貴重品の管理は気をつける

学内環境

食堂の評価	★ ★ ★ ★ ☆
食堂についてのコメント	学内のいたるところにカフェがあり便利
図書館の評価	★ ★ ★ ★
図書館についてのコメント	広くて設備も充実している。異なるエリアがあり気分転換にいい
インターネットの評価	★ ★ ★ ☆
インターネットについてのコメント	数や設置場所は多い。テスト期間は混む
売店・ブックストアの評価	★ ★ ★ ☆ ☆
売店・ブックストアについてのコメント	普通

大学のサポートの評価	★★★★★
大学のサポートについてのコメント	教員や院生のサポートがとてもいい。その他テストやエッセイ対策のコンテンツも充実している
全体の印象) 評価	★★★★★
全体の印象) についてのコメント	自分から求めればいくらでも学問的なサポートが受けられる環境が整っている

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	勉強、日用品の買い出し、フラットメイトと喋る
Weekend(休日の過ごし方)	勉強、タウンで買い物、デイトリップ、飲みに行く、フラットメイトと喋る

おすすめスポット・旅行先など

市の中心部にあるNorthern Quarterは古着屋さんやカフェがたくさんあって何度行っても飽きない。イギリス国内の旅行先はEdinburghとOxford が特に良かった。国外ならギリシャ、フランス、スペインが特におすすめだが、せっかくヨーロッパにいるならあまり戻って来なような小さな国も訪れておけば良かったとも思う

目標

1	英語力の向上	★★★★★
その成果 1		★★★★★
2	開発学の履修	★★★★★
その成果 2		★★★★★
3	イギリス文化への理解	★★★★★
その成果 3		★★★★★

今後の課題

英語に関しては留学で伸ばすことのできた部分を失わず足りない部分を補っていけるように、いろいろと工夫しながらより積極的に勉強しようと思う。留学中の授業から得た知識を無駄にしないように、その分野に関する自分の興味関心をさらに掘り下げながら引き続き勉強していきたい。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

単語・熟語の勉強とイギリス英語に慣れること。後者は留学中に伸びる部分でもあるが、映画などでもう少し慣れておけば良かったかなと思う。前者はこのアンケートで先輩方がよく書いているのを読んで自分もできなかった。留学中はフラットメイトと話すことに時間を使いたかったので、一人で勉強できる部分はなるべく事前にやっておけたら良かったと思う。

帰国後

進路予定

未定

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

私は留学すべきかかなり悩んでいた時期がありました
が、結果留学したことで得たものは本当に大きく(アカ
デミックな部分だけではなく)何にも変えがたい経験に
なりました。留学の形は人それぞれで何に重きを置くか
は様々だと思いますが、ぼんやりとでもいくつか目標を
たててそれを見直しながら日々を過ごせると充実した留
学になると思います。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えて可
も良いですか？